

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 守恒 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

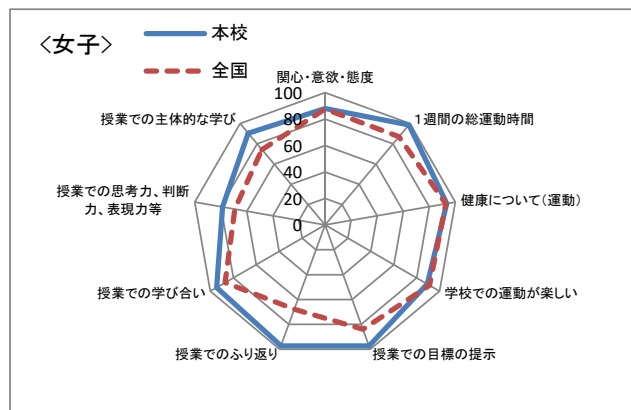
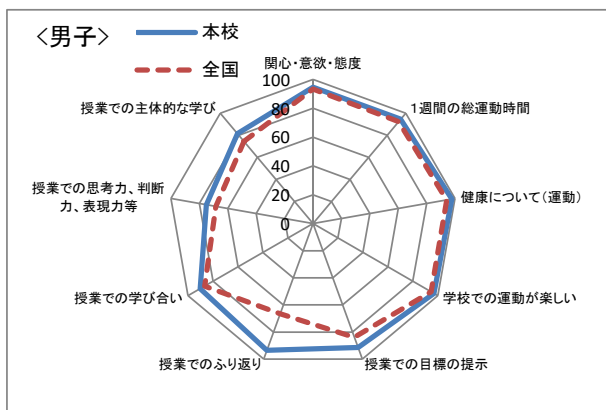
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目		○	○	○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○ほぼすべての項目で全国平均を上回っている。特に、「体育の時間以外の運動量」「運動やスポーツは大切」の数値が高く、運動のよさを理解し、主体的に運動に取り組む姿勢が身に付いてきていることがうかがえる。また、「授業での目標提示」「授業での振り返り」「授業での学び合い」の数値が高く、アクティブ・ラーニングの視点での授業改善に取り組んでいる成果が表れてきている。○一方で、女子児童の「体育の授業は楽しい」が唯一全国平均を下回っている。今後の課題としてさらなる授業改善に取り組むたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○体力向上推進教員の指導助言のもと、今後も「楽しい体育の授業」を目指して授業改善・職員研修を行っていく。また、運動量を確保しながら、学び合い(話し合う活動)を取り入れることで、全員が学習の楽しさを味わうことができるようにするとともに、お互いの技能を高めたり、考えを広げたり深めたりできるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○本年度実施した朝の運動の取組(1学期は長縄、2学期はキッズダンス、3学期はかけ足・持久走)を継続する。休み時間の外遊びを推奨し、クラス全員で遊ぶ日を設定するなど、体を動かす機会を増やす。